

【団体概要】（令和6年6月26日時点）

団 体 名	一般社団法人 南魚沼市観光協会	会社法人等番号	61100-05-015324	
法人設立年月	西暦 2013年 8月 26日	団体の活動範囲	南魚沼市内と近隣市町村 他	
団体が管理・運営する施設（※指定管理施設を含む）	道の駅南魚沼 今泉記念館及び公園（指定管理施設） JR浦佐駅内 観光案内所（魚沼市観光協会との共同運営）			
団体設立の経緯・沿革	<p>2004年11月に南魚沼郡六日町と大和町が合併し、市制が施行。翌年10月に塩沢町が編入し、現在の市制となる。観光協会としては、2004年の合併時に旧町2協会が統合したが、塩沢町観光協会とは2007年の4月に統合し、市内観光事業のワン・ストップ・サービスを目指す、現在の団体の基盤が形成された。</p> <p>スキー観光の来客減少が続く状況からグリーンシーズンやインバウンド受入れの推進を始めるとともに、組織力の強化を図るため、2013年8月に一般社団法人化を行った。また、独自の旅行商品造成による観光地経営のため、2016年6月に新潟県知事登録旅行業第2-405号を取得。着地型企画を中心に、大手旅行会社にはできない地域住民、関係者と一体となった主催旅行を造成、販売している。</p> <p>2019年からは教育体験旅行（主に首都圏の小中学校）の受入れに注力し、更なる観光交流人口の拡大を図っている。</p> <p>2021年3月、観光庁より「観光地域づくり候補法人（候補DMO）」に認定、2023年9月26日「登録地域DMO」に正式登録され、観光地経営としての基盤の確立を進める。</p>			
団体概要	<p><目的></p> <p>観光経済のまち、南魚沼市における観光事業の健全な振興を図り、もって地域経済及び地域文化の発展並びに公共の福祉に寄与することを目的とし、観光事業の振興、観光客誘致のための営業・宣伝活動、地域連携強化による関係諸機関との調整等を行う。</p> <p><構成></p> <p>会長以下、14名の役員・参与（理事会）と11名（臨時職員含む）の事務局職員</p>			
活動実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共性かつ公益的である宣伝広告、営業活動、観光振興などのPR事業 ・道の駅公共施設の指定管理運営 ・カフェコーナーの営業と遊具貸出し ・JR浦佐駅観光案内所の管理運営 ・インバウンド誘客促進事業 ・グリーンツーリズム推進事業 ・夏の大遊び宿泊プラン造成 ・夏季合宿誘致支援事業 ・南魚沼市農業体験大学校開催 ・武蔵野市セカンドスクール等受入 ・特産品販売促進事業 ・イベント事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共性かつ公益的である宣伝広告、営業活動、観光振興などのPR事業 ・道の駅公共施設の指定管理運営 ・カフェコーナーの営業 ・JR浦佐駅観光案内所の管理運営 ・インバウンド誘客促進事業 ・グリーンツーリズム推進事業 ・夏の大遊び宿泊プラン造成 ・夏季合宿誘致支援事業 ・南魚沼市農業体験大学校開催 ・武蔵野市セカンドスクール等受入 ・特産品販売促進事業 ・市内消費喚起促進事業（コロナ対策） 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共性かつ公益的である宣伝広告、営業活動、観光振興などのPR事業 ・道の駅公共施設の指定管理運営 ・カフェコーナーの営業 ・JR浦佐駅観光案内所の管理運営 ・インバウンド誘客促進事業 ・グリーンツーリズム推進事業 ・夏の大遊び宿泊プラン造成 ・雪の大遊びプラン造成 ・南魚沼市農業体験大学校開催 ・武蔵野市セカンドスクール等受入 ・特産品販売促進事業 ・市内消費喚起促進事業（コロナ対策） 	
財政	総収入	210,471,304円	168,493,557円	156,687,792円
	総支出	207,127,076円	162,532,701円	155,074,207円
	当期損益	3,344,228円	5,960,856円	1,613,585円
観光入込客数	2,930,730人	2,775,770人	2,117,280人	
観光地域づくりのコンセプト	『雪国の暮らしを旅する』 ～自然・食・人と出会うとっておきの時間。世界が訪れたい南魚沼へ～			
コンセプトの考え方	南魚沼市は、首都圏からのアクセスの良さに加えて、四季がはっきりとした自然や全国有数の多様なスノーエリア・温泉郷、食のクオリティの高さなど、観光に必要な要素が豊富に揃っており、また、長い歴史の中で雪と共生しながら育まれた独自の歴史、文化、食が今日まで受け継がれている。			